

# 乙女高原ファンクラブ 2020年度

活動報告(ダイジェスト版) 2020.3.~2021.2.

## ■こんな1年間でした

1. コロナ禍で世話人会を開催する場所確保が難しかったり、フォーラムが中止になったりと十分な活動ができたとはいえない。しかし、公式には中止とした草刈りは有志で実施した。また、自然観察交流会は乗り合わせはやめ、各自の車で現地に行くなど感染対策をしながら小規模だが実施できた。
2. 1年間で7名の入会者があり、現在、総入会者数は748名。
3. 活動への参加者数はのべ223人(2004年度:811人, 05:1200, 06:1378, 07:1344, 08:1253, 09:1176, 10:834, 11:758, 12:590, 13:660, 14:630, 15:699, 16:846, 17:581, 18:775, 19:746)。
4. 毎月第一土曜に乙女高原へ行く自然観察交流会を実施5年目。
5. 環境省/日本自然保護協会「モニタリング1000里地里山調査」ヤマアカガエル産卵調査は7年目。合計で22腹の卵塊(2014:35腹, 15:42, 16:29, 17:25, 18:35, 19:22)。
6. 山梨市駅前の街の駅にて、乙女高原の常設展示4年目。シーズン23:乙女高原のチョウ, S24:乙女高原の草花。
7. 3月に街の駅と共催で「乙女高原ファンクラブ20周年展」を行う予定。
8. 第21回遊歩道作りは世話人・案内人有志、市職で実施。谷地坊主遊歩道を新設。
9. 10年目となるスマレ観察。5月に1回。また、6月には黄色いスマレハイク。
10. 6・8・9月と、年3回のマルハナバチ調査を実施。18年目となる。
11. 夏休みのボランティアガイド復活5年目。計7日間を計画した。
12. 高槻先生主導の「花と昆虫のリンク」調査、植生調査を行った。
13. 草刈りボランティアはコロナで中止。有志35人で草刈り実施。残りは市職が刈った。
14. 乙女高原フォーラムはコロナで中止。次回講師は保全生態学の鷺谷いづみさん。
15. 次の団体から助成金を拝受。  
山梨市/乙女高原保護活動事業補助金(7万円), ㈱田丸グリーン基金(10万円), 富士ゼロックス/富士ゼロックス端数倶楽部(10万円), イオン石和/マックスバリュ東海(20,500円)。
16. 計5回の乙女高原連絡会議・世話人会を開催。連絡会議は山梨県・山梨市の担当者を変えて開催した。1~4回はコロナ禍の中、市の会議室を借用。
17. 会報「乙女高原が好き!」を年4回発行。今年度から鈴木さん・井上さんが編集、芳賀さん・三枝さんが印刷を引き受けてくださった。
18. メールマガジンを年14回配信し、ホームページを更新。
19. 2009年に始めたデータロガーによる気温の計測を継続。
20. 第4回乙女高原フェローとして1人を認定。世話人会で記念品を進呈(計22人)。
21. 遊歩道づくり, 草刈りボランティア, 乙女高原フォーラムは県・市との共催事業。今後とも行政との協働で乙女高原の自然を守り育てていきたいと思っております。
22. 10月に山梨県立大学にて、乙女高原ファンクラブの活動についてオンライン講義を行った。

# ■ 1年間のおもな活動の足跡 乙女高原ファンクラブ 2020

■3/15 2019年度定期総会

## コロナのため中止

会計監査を済ませ、会場予約も済ませ、出欠ハガキを確認し、資料も準備したが、コロナ感染拡大防止のため、やむなく中止。世話人と出席予定者に資料を配布し、意見を聞いた。

■4/4 ヤマアカガエル産卵調査



環境省と日本自然保護協会によるモニタリング 1000 里地調査への参画。4/19, 5/2, 5/16 の 4 日間調査。のべ 7 人。合計 22 の卵塊をカウント。センサーカメラに卵を食うタヌキの姿が。

■5/6 臨時観察交流会



コロナのため様々な行事が中止になる中、それぞれの車に乗り、密を避ける感染対策を取りながら実施。有志 4 人。ウスギヨウラクや多くのスマレなどを観察した。

■5/10 第 21 回遊歩道作り  
→コロナのため中止。世話人・案内人・市職の有志で実施。雨のため 17 日に行った。



有志 13 人。谷地坊主遊歩道・看板前広場を新設。9:30-12:30

■5/17 スマレの観察



有志 10 人。密集を避けるため、個々に観察した。アカネ、アケボノ、エイザン、サクラ、シロバナサクラなど 10 種類のスマレが観察できた。

■6/6 黄色いスマレウオッチ



有志 13 人。黄色いスマレ・キバナノコマノツメの群生場所までハイキング。オサバグサやウスギオウレンなど多くの植物を観察した。10:00-15:00

■6/28 マルハナバチ調べ隊①

## 雨のため中止

午後から担当が 1 人でラインセンサスを実施。トラ 2, オオ 2, ミヤマ 2 の計 6 頭。訪れていたのはすべてアヤマメだった。

■7/4 谷地坊主の観察会

## 雨のため中止

翌日、担当が谷地坊主の身体検査のみ実施。

■7/19- 乙女高原のチョウ展



街の駅やまなし常設展 Season23 として。Season24 は「乙女高原の花」10/17-。「乙女高原ファンクラブ 20 周年展」は 3/12-。



■7/27 笛川小学校 5 年生案内

## 雨のため中止

毎年、笛川小学校 5 年生が総合学習で乙女高原の調べ活動をし、その一環として乙女高原で自然学習を行っている。今年度は雨のため中止。

■7/25-案内人夏の案内活動



夏休み中の土日、乙女高原案内人有志が交代で、乙女高原の案内活動を実施。7/26, 8/1, 8/2, 8/8, 8/9, 8/10 の 7 日間。のべ 15 人の案内人が参加。

■8/1 マルハナバチ調べ隊②



有志 10 人。10:00-12:00 マルハナバチの紙芝居は小学生のリピーター。ラインセンサス調査 113 頭。コロナ対策で午前中のみ開催。

■8/2「花と昆虫のリンク」調査



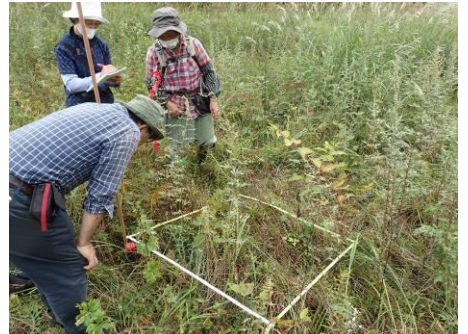
麻布大学高槻研究室で 2013 年に行った調査を 7 年後の今年行い、比較してみることに。遊歩道を歩きながら全ての訪花昆虫を記録。参加者 8 人

■9/5 マルハナバチ調べ隊③



有志 12 人。ラインセンサス調査 8 頭。10:00-12:00。コロナ対策で午前のみ実施。午後から雷雨となった。

■9/19 草原内植生調査



参加者 7 人。高槻先生を団長に、草原内の 10 調査ポイントで方形枠を使った植生調査を実施。この調査は乙女高原がシカ柵で囲われる前から行われている。

■11/7 草刈りボランティア準備



参加者 16 人。遊歩道のロープを回収、整理。トイレやロッジのホールを掃除。林道の側溝の落ち葉・泥上げ(林道に水が流れ出し、凍ってしまう)。事前草刈り等の作業を行った。

■11/23 第 21 回草刈りボランティア  
→コロナのため中止



有志 35 人が、それぞれ自分の意志で作業を行ってくださった。草原全部を刈り取ることはできなかったが、それは後日、市観光課の皆さんが刈ってくれた。

■1/31 第 20 回乙女高原フォーラム

## コロナ感染拡大のため 1 年間延期

スペシャルゲスト：鷺谷いづみさん、テーマ：生物多様性というフォーラムを開催する予定だったが、コロナ感染拡大のため 1 年間延期することとした。

## ■乙女高原ファンクラブまで 乙女高原ファンクラブから

1998.8 乙女高原自然教育研究会執筆・写真・編集による『乙女高原フィールドガイド』発行。  
1999.9 「乙女高原の森」連絡会議発足。 2000.3 乙女高原スキー場用地使用協議の廃止。  
2000.11 第1回「乙女高原の草原を守る！」草刈りボランティア開催。

### 2001.4 乙女高原ファンクラブ発足

発足記念映画会 吉永小百合『明日は咲こう花咲こう』

- 2001.5 草原内の遊歩道を全面的に改定。土壌流失のひどい遊歩道は閉鎖。新遊歩道開設。  
2002.3 **新事業**・第1回乙女高原フォーラム開催（ゲストは西丸震哉さん）西丸流自然とのつきあい方  
2002.11 やまなし山の日イベント大賞受賞（受賞対象は乙女高原自然講座）  
2003.4 **新事業**・乙女高原案内人養成講座スタート（03,04,05,08の4期）  
2003.6 イタドリの刈り取り実験用コードラート設置  
2003.6 **新事業**・マルハナバチ調べ隊スタート。（毎年3回）  
2003.10 乙女高原で8月にマーキングされたアサギマダラが愛知県田原市衣笠山で再捕獲  
2003.11 第4回乙女高原の草原を守る！で、キッズボランティア開始  
2004.1 やまなし環境財団より若宮賞受賞  
2004.4 (株)田丸グリーン基金より協力参加費をいただく。（以後、毎年）  
2004.6 **新事業**・イタドリ刈りスタート。（2007年まで4年間）  
2004.7 乙女高原案内人による夏の自主インタープリテーション活動開始（以後、毎年）  
2004.12 真っ赤になったグリーンロッジの屋根について町と町教育委員会に意見書提出  
2005.4 「みどりの日」自然環境功労者環境大臣表彰受賞  
2006.1 **新事業**・山梨市民会館ロビーにて乙女高原展開催（以後、毎年）  
2006.5 月に一度の乙女高原案内人勉強会スタート  
2006.12 山梨鈴木助成事業財団の助成により『乙女高原案内人 誕生と成長の記録』刊行。  
2007.6 全労済の助成金を活用し乙女高原フィールドガイドⅡ『マルハナバチ』を作成。  
2008.6 **新事業**・アサギマダラ調べ隊スタート（マーキングされたチョウが兵庫・高知で再捕獲）  
2009.4 (株)田丸グリーン基金を活用し、乙女高原フィールドガイドⅠ『お花たち』を改訂増刷  
2009.7 (社)関東建設弘済会「関東・水と緑のネットワーク拠点百選」に当選  
2009.11 **新事業**・乙女高原に自動温度記録計設置（気温・地温）。計測スタート  
2010.5 **新事業**・草原2箇所、湿地1箇所、計3箇所にシカ柵設置。以後、モニタリングを行う。  
2010.11 乙女高原が山と溪谷社・日本山岳遺産基金による「日本山岳遺産」に認定される。  
2011.5-6 3回のスマイレ観察会を実施。  
2011.6 麻布大学高槻研究室のシカ柵内外の植物調査に協力。  
2011.11 東京農工大星野研究室・(株)田丸の協力で藁撒きプロジェクト(刈り草を残土処分場へ)を実施。  
2012.1 乙女高原フィールドガイドⅢ『スマイレ』を発行。  
2012.8 自主的に百葉箱を設置、ベンチ・テーブルの修理と新設、案内板を修理。  
2013.6 **新事業**・草刈りの時期を変えて草刈りの効果を確認する刈り取り実験。  
2013.11 11年分のメールマガジンを編集した『乙女高原大百科』を刊行。  
2014.3 環境省/日本自然保護協会のモニタリング1000里地調査に参加。アカガエル産卵調査を開始。  
2015.8 **新事業**・谷地坊主の観察会  
2015.11※乙女高原を取り囲むシカ柵完成（市の事業による）  
2016.4 **新事業**・街の駅やまなしにて、乙女高原(ファンクラブ)の常設展開始  
2016.11 **新事業**・草刈りボランティアに山梨市駅からの送迎バス運行  
2017.4 **新事業**・乙女高原フェロー制度をスタート。2018年1月のフォーラムにて5人をフェロー認定  
2018.2※「乙女高原の谷地坊主」が山梨市の天然記念物に指定される  
2019.1 おもてなしのやまなし知事表彰を受ける  
2019.11 第20回草刈りを記念し13団体に感謝状と記念品贈呈。記念ステッカーを作成し、参加者に配布  
2019.11※山梨ロータリークラブより谷地坊主看板が寄贈される。  
2020.新型コロナウイルス感染防止のため、活動に様々な制限があった。

### 2021.4 乙女高原ファンクラブ20周年

#### 乙女高原ファンクラブへの連絡先

【事務局】植原 彰(方) 〒404-0013 山梨県山梨市牧丘町窪平 1110-3  
TEL FAX 0553-35-3682 電子メール otomefc@fruits.jp  
ウェブページ <http://fruits.jp/~otomefc/>

●郵便振込● (番号)00220-8-71093 (加入者名)乙女高原ファンクラブ